

「いわて県民計画」第3期アクションプラン(地域編・県南広域振興圏)の概要について

目指す将来像(長期ビジョン)

「連携」と「協働」により、地域資源を生かしながら世界に誇れる岩手をリードする地域

振興施策の基本方向

- 人口減少問題に対応するために、恵まれた地域資源を最大限活用し、産業の振興による雇用の創出を図るとともに、地域の若者や女性が地域に定着、活躍する取組を推進。
- 広域的なネットワークや、行政、企業、NPO及び住民等の多様な主体による協働を更に進め、持続可能な地域社会の形成に向けた取組を推進。

12
の
重
点
施
策

I 地域のあらゆる資源を生かしながら、世界に通じる技術と個性ある地域素材が織りなす強い地域産業が躍動する社会の構築

重点施策名	主な取組内容	指標
1 雇用・労働環境の整備と若者の地元定着	① 雇用機会の拡大、労働環境整備の促進 ② 産業人材の育成、キャリア形成の支援 ③ 若者等の就職、地元定着の促進	◎ 県南圏域高卒者の管内就職率 H26現状:57.8%⇒H30目標:60.0%
2 世界に通用するものづくり基盤の構築と伝統産業の振興	① ものづくり人材の育成・地元定着の促進 ② 地域企業の競争力強化の支援 ③ 新規参入・取引拡大による産業集積の促進 ④ 伝統産業の振興	① ものづくり関連分野(輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等)の製造品出荷額 H26現状:⑤12,691億円 ⇒H30目標:⑥14,000億円 ② 南部鉄器及び岩谷堂筆筒の販売額 H26現状:18.1億円⇒H30目標:20.1億円
3 平泉世界遺産をはじめ多彩な資源を生かした観光振興	① 地域資源を生かした魅力的な観光地づくり ② 観光人材の育成や二次交通などの受入態勢の整備 ③ 効果的な情報発信と誘客活動の推進 ④ 国際観光の振興	◎ 県南圏域の観光入込客数(延べ人数) H26現状:1,127.2万人回 ⇒H30目標:1,130.8万人回
4 多様な事業者のネットワークを活用した食産業の振興	① 「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を生かした企業力向上の支援 ② 「地域食材」を生かした取引拡大の促進 ③ 「食と観光」を生かした地域ブランド確立の支援	◎ 食料品製造出荷額 H26現状:⑤730億円⇒H30目標:⑥760億円
5 経営資源の継承・活用による岩手をリードする地域農業の展開	① 地域農業を力強くけん引する経営体の育成 ② 市場競争力の高い農畜産物の産地化の促進 ③ 農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進 ④ 地域協働による農村資源の保全	◎ 農畜産物の販売額 H26現状:775億円⇒H30目標:779億円
6 生産性の高い地域林業の実践と木材産業の活性化	① 林業の担い手育成の支援 ② 森林の整備・保全の促進 ③ 木材供給システム整備の促進 ④ 特用林産物生産の振興	◎ 林業産出額 H26現状:⑤53億円⇒H30目標:⑥56億円
7 産業を支える社会資本整備の推進	① 物流の効率化と三陸沿岸地域の復興を支援する道路整備の推進 ② 地域間の交流・連携を図る道路整備の推進	◎ 内陸部と沿岸部を結ぶルートにおける都市間平均所要時間 H26現状:92分⇒H30目標:83分

II 助け合う風土や豊かな自然を大切にしながら安全で安心して暮らせる住みよい活力ある地域社会の形成

重点施策名	主な取組内容	指標
8 地域で安心して暮らせる医療の充実と健康づくりの推進	① 地域完結型の医療連携体制の構築 ② 災害医療及び感染症対策に係る実地訓練などの実施 ③ 生活習慣病予防 ア 働き盛り年代の生活習慣病予防対策の推進 イ 若年期からの生活習慣病予防対策の推進 ④ 心の健康づくりの推進	① 病院と診療所(開業医)の役割分担の認知度 H26現状:56.9%⇒H30目標:75.0% ② メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合 H26現状:④27.6%⇒H30目標:⑤23.8% ③ 従業員のメンタルヘルスケアに取り組んでいる企業・事業所の割合 H26現状:42%⇒H30目標:80%
9 誰もが安心して生活できる支え合いの地域づくりの推進	① 子育てしやすい環境の整備 ② 地域包括ケアシステムの構築 ③ 障がい者の自立活動の支援 ④ 生活困窮者の自立支援	① 「いわて子育てにやさしい企業等」認証数(累計) H26現状:6社⇒H30目標:18社 ② 居宅サービス・地域密着型サービスの利用割合 H26現状:62.1%⇒H30目標:67.5% ③ 障がい者入所施設等を退所し、地域生活へ移行する障がい者数(累計) H27目標値:32人⇒H30目標:130人
10 社会資本の維持管理と安全で快適なまちづくりの推進	① 社会資本の適切な維持管理の推進 ② 地震・洪水・土砂災害対策の推進 ③ 関係団体等との防災協力体制の構築 ④ 通学路における歩道整備等の推進 ⑤ 環境及び景観の保全・形成 ⑥ 鳥インフルエンザ等対策の推進 ⑦ 火山防災対策の推進 ⑧ 放射線影響対策の推進	① 長寿命化修繕完了橋梁数 H26現状:132橋⇒H30目標:165橋 ② 土砂災害防止法に基づく基礎調査の実施率 H26現状:55.5%⇒H30目標:93.3% ③ 通学路(小学校)における歩道整備率 H26現状:77.3%⇒H30目標:80.1%
11 環境と共生した持続可能な地域社会の構築	① 地球温暖化防止に向けた取組の支援 ② 循環型社会の構築に向けた廃棄物対策の推進 ③ 優れた自然環境等の保全・保護活動の推進 ④ 野生鳥獣等の適切な保護管理	① 多量排出事業者における二酸化炭素排出量 H26現状:⑤1,379千tCO ₂ /年 ⇒H30目標:⑥1,323千tCO ₂ /年 ② 住民一人1日当たりのごみ排出量 H26現状:⑤877g/日⇒H30目標:⑥841g/日 ③ 狩猟者登録延べ件数 H26現状:828件⇒H30目標:828件
12 未来を切り拓く若者・女性が活躍する活力ある地域社会の形成	① 若者の地元定着と活躍できる環境づくり ② U・Iターンと定住の促進 ③ 女性が活躍できる環境の整備 ④ 地域コミュニティ活動の活性化 ⑤ 県南圏域市町と連携した取組の推進 ⑥ スポーツによる地域振興 ⑦ 国際リニアコライダー(ILC)の実現に向けた取組の推進	◎ 県外からの移住・定住者数 H26現状:360人⇒H30目標:440人

※アクションプラン推進上の重視する視点

＜復興支援＞

ものづくり、観光、食産業等の分野において、沿岸地域との交流連携を深め、沿岸地域の本格復興を牽引

＜ふるさと振興＞

人口減少への対策として、若者や女性が地域に定住するなど新たな人の流れを生み出す

＜県際連携＞

防災対策や広域観光など県境を超えた多様な主体によるネットワークを構築し、地域資源を相互に共有し、取り組む